



協力: 風早活性化協議会

# オオキチくん通信

昆虫(こんちゅう)が幼虫(ようちゅう)やさなぎから、羽(はね)がある成虫(せいちゅう)になることを羽化(うか)といいます。オオキトンボも羽化の時期(じき)になりました!

2020年7&8月号

発行: NPO法人森からつづく道

URL: <http://morimichi.org/>

★上記HPからダウンロードできます

独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて作成しています。



## オオキトンボのたびだち

前の年の秋にため池の水ぎわにうみ付けられた卵は、春にふ化して幼虫(ヤゴ)になります。幼虫は夏の夜10時ごろからため池に生えた草をよじのぼって羽化します。

【羽化の時期】6月の中ごろ~8月の中ごろ

【一番羽化が多い時期】6月の終わり~7月の中ごろ



オオキトンボのめけがらはいくつあるかな?



夜、草をのぼる幼虫



羽化

飯田貢さん撮影



羽化して間もない成虫

(武智礼央)

## 夜のムシ観察会のお知らせ

林のそばにライトトラップ(わな)をしかけて、明りに来る昆虫(こんちゅう)を観察します。昼間の昆虫観察とはちがって、いろんな種類のガやカブトムシなどを見ることができるかも!



夏の思い出に参加(さんか)してみませんか?

【主催】NPO法人 森からつづく道  
【協力】愛媛県生物多様性センター

【日時】7月23日(木、祝) 18:30~20:00 雨天中止  
【集合】高縄神社(松山市宮内甲102)  
【募集】親子10組程度(小学生以上の子どもと親)  
【申込】7月16日(木)までに、名前、ねんれい、電話番号、住所を、ファックスかメールでお知らせください。  
ファックス: 089-992-9152 メール: [info@morimichi.org](mailto:info@morimichi.org)  
参加費無料(むりょう)。申し込みした人にくわしい案内を連絡(れんらく)します。

## あのムシは今?! 【ハンミョウ】

見つけ方: 山道や空き地など、日当たりのいい土の地面(じめん)を歩いていると、前をすばやく走ったり低くとんだりします。(写真: 武智礼央)



道教え: 人の前へ前へと道にそってにげていき、着地(ちゃくち)するとクルッとふり返るハンミョウは、その様子から「ミチオシエ」と呼ばれて親しまれてきました。(若山勇太)

## まつぼっくりコレクション \*ヒノキ\*



ヒノキは日本の固有種(こゆうしゅ)です。まっすぐのびて、高さ40mにもなり、くさりなく、いい香りがするので、高級(こうきゅう)木材(もくざい)になります。まつぼっくりは1cmくらいでボールみたいに丸く、はじめは緑色ですが、10~11月に茶色になります。

今が旬！生きもの情報

セミを観察してみよう！

夏はセミの季節。鳴き声に注意して家のまわりでセミをさがしてみよう。ぬけがらを集めてもおもしろいよ。鳴く時刻（じこく）やどんな木に多いかなども調べてみよう。この夏、君は「セミ博士」になれるはず！



【ツクツクボウシ】  
「ツクツクポーシ、ツクツクポーシ…」

【アブラゼミ】  
「ジジジジ…」

【ヒグラシ】  
「カナカナカナ…」

【クマゼミ】  
「シャシャシャ…」

ちょっとまって～  
羽化中だから…



夜、セミの羽化に出合えたらラッキー！！

【ミンミンゼミ】  
「ミーン、ミーン…」

【ニイニイゼミ】  
「チー、ジー…」



食事中です

アブラゼミが樹液（じゆえき）をすっています。長い間土の中にいるときも、外にでたときもやっぱり樹液が大好きです。セミによって、好きな木があるようです。アブラゼミはサクラの木が好きみたいだよ。

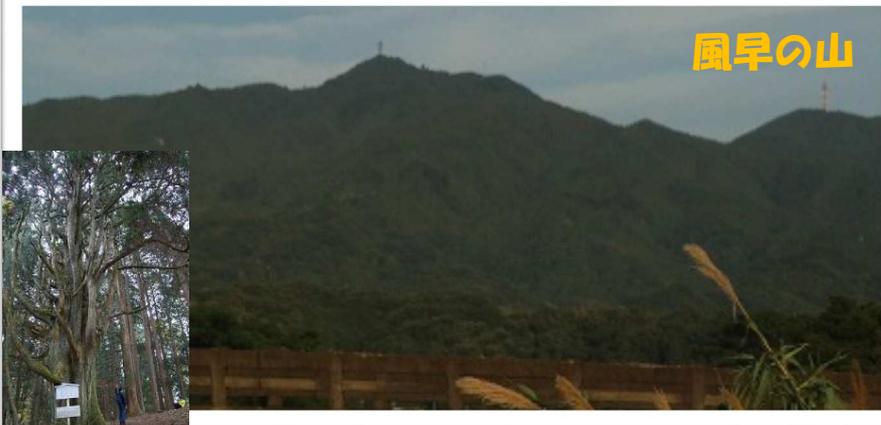
腹弁



♀

♂

腹の腹弁（ふくべん）を見なくても、鳴く方がオス（♂）だよ。オスには腹に「発音まく」という器官があるから、鳴けるんだ。



風早の山

高縄山986m。山頂の手前に河野氏の菩提寺（ぼだいじ）である高縄寺があります。河野地区から車道が山頂まで通じています。瀬戸（せと）の島々が一望（いちぼう）でき、写真の千手杉や七本杉などの巨木（きよぼく）が残っています。

今月の植物 ★ カラスウリ



夏、日がしずむころにレースあみのような花を開きます。白い花は月の光でよく目立ち、蜜（みつ）を求めてズメガなどが集まります。

ちょっと  
いっぴく

底樋  
（そこひ）



ため池の一番深い所にある、おふろの栓（せん）のようなもので、これを抜（ぬ）くと水がすべて流れ出ます。古い池では木で作られていて池干しのときに抜かれます。（松山市善応寺）

そうやったんかい！ 外来生物 ⑬



ダンゴムシ

おなじみのダンゴムシ（正式にはオカダンゴムシ）も実は明治時代にヨーロッパからやって来た外来種。足はりょうがわに7本ずつで、体に黄色いはん点があるのがメスです。落ち葉などを食べるので自然界をきれいにしてくれる大事な役目をします。北条の砂浜にはもともと日本にいるハマダンゴムシもいます。